随想 〈第三十八回〉

応援のチカラ

市長　米本弥一郎

2月2日に行われた第36回旭市飯岡しおさいマラソン大会。今回は2年ぶりに、私もランナーとして5kmの部に出場しました。

「よねもとしちょうさーん、がんばって」というかわいい声援や、優しい笑顔で「市長、ここからが本番でしょう」という声援が、沿道から次々と聞こえてきます。私も、折り返して復路を走ってくるランナーに「頑張れ」「負けるな」と大きな声でエールを送り、周りに居たランナーと互いに励まし合いながら、自分の気力を確認し、気持ちを奮い立たせました。

レース後半には、一歩進むごとにいいおか潮騒ホテル前でのお囃子（はやし）の音が大きくなり、しおさいスタジアムにあるゴールが確実に近づいていることを実感し、力が湧いてきました。しおさいスタジアムに向かって県道を左折すると、道は緩やかな上り坂。「最後に心臓破りの坂か」と思いましたが、そこでも多くの人に励まされ、上り切ることができました。そして、大声援に迎えられながらゴールした瞬間、ホッとした気持ちと、走り切ったという満足感でいっぱいになりました。

練習不足を自覚していたので「ただひたすら腕を振り、足を前に出し続けよう」と決意しながらも、不安の中でのレースでした。無事にゴールできたのは、何より皆さまの温かい応援があったからこそです。この応援がランナーの支えとなり、大会を盛り上げる大きな力になったと感じています。

悪天候にもかかわらず、2千人を超えるランナーをもてなし、支えてくださった全ての皆さまに、心から敬意と感謝を申し上げます。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前９時～午後７時
土・日曜日、祝・休日：午前９時～午後５時
今月の休館日／月曜日、21日(金)
問市図書館(☎62-2560)　https://www.library-asahi-chiba.jp/

おはなしの時間
幼児向けの絵本の読み聞かせ
日時／１日(土)、15日(土)
午前10時30分～11時
場所／県立東部図書館３階　研修室

今月のおすすめ

「そして少女は、孤島に消える」
彩坂美月 著（双葉社）

映画のオーディションに参加した18歳の立夏は、台本通りに演技をするよう命じられ、最終審査まで残った４人と共に孤島に残される。やがて１人が襲われ…。

「二十四五」
乗代雄介 著（講談社）

良き理解者であった叔母を亡くした喪失感を抱えつつ、小説家という仕事と向き合う景子は、弟の結婚式のために訪れた仙台で、叔母と来る予定だった地を巡る。

新着図書

- 首都圏から行く個性派ミュージアム案内（町田忍）
- 地図なき山（角幡唯介）
- 阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか（阪本真由美）
- 謎解き妖怪学（小松和彦）
- ぜんぶ絵でわかるすごい骨の動物図鑑（盛口満）
- 美術館・博物館の事件簿（島田真琴）
- 髪の毛の疑問50（日本毛髪科学協会）
- 予防接種を考える75の話（母里啓子）
- 下垣内教授の江戸（青山文平）
- 雪夢往来（木内昇）
- 昇華（今野敏）
- 直木賞を取らなかった男（新堂冬樹）
- 歪曲済アイラービュ（住野よる）
- 11ミリのふたつ星（砥上裕將）
- ヒポクラテスの困惑（中山七里）
- 秘仏の扉（永井紗耶子）
- 暗黒戦鬼グランダイヴァー（誉田哲也）
- カメオ（松永Ｋ三蔵）
- ＰＲＩＺＥ（村山由佳）
- セルフィの死（本谷有希子）
- 桜が散っても（森沢明夫）